

なないろ

nanaïro

なないろの喜びと笑顔を
みなさまにお届けします。

春夏



vol.26



photo: 山崎 英二

今号の1枚

今年度の新入職員（詳細は2面に掲載しています。）

心躍る春、今年も6人の新しい仲間を迎えました。「笑顔・健康・誠実・安心」を忘れず、ご利用者様・ご家族の皆様と共に、喜びの日々を送りたいと思っています。

新入職員紹介

今年度は正職員6名を迎えました。(正職員転換試験合格者4名、正職員採用2名)新たに正職員となった意気込みをご紹介します。



デイサービス虹のひろば

新卒 介護福祉士 野崎 敦さん

自身の在宅介護経験で介護が持つ力の偉大さに目覚め、「虹のひろば」の職員となりました。利用者の皆様に快適で楽しいと感じて頂く事を念頭に、経験を重ね成長したいです。

地域活動支援センター八甲

相談支援専門員 平野 千代野さん

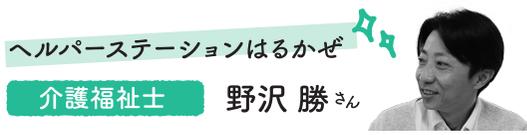
これまでの経験を活かすとともに、謙虚に、細やかな支援を心がけていきたいと思えます。気付き、なぜの視点、共感の姿勢を大切に仕事に取り組みたいと思えます。



ヘルパーステーションはるかぜ

介護福祉士 佐藤 雄紀さん

介護福祉士として3年半、日々学ぶことは多いです。今後も利用者様やご家族の方々をサポートできるよう、先輩スタッフから学び、ケアの向上に努めていきたいと思えます。



ヘルパーステーションはるかぜ

介護福祉士 野沢 勝さん

学習会や喀痰吸引研修など学ぶ機会が多くありました。今回を節目に専門職として、利用者様へのより質の高いケアを目指し頑張っています。よろしくお願ひ致します。



ヘルパーステーションはるかぜ

新卒 介護福祉士 倉岡 楓子さん

新卒で技術や知識が未熟な事もあると思えますが、笑顔を忘れず努力していきたいと思えます。利用者様はもちろん、ご家族の方にも寄り添えるよう頑張ります。



ヘルパーステーションはるかぜ

介護福祉士 倉内 誠さん

デイサービス虹のひろばからヘルパーステーションはるかぜに配属されてからまだ日が浅く、悪戦苦闘の日々が続いています。皆様の役に立てるよう日々努力していきます！

2010

10月1日

■ ショートステイ「虹の郷」デイサービス「虹のひろば」事業開始

2007

4月1日

■ ヘルパーステーション「はるかぜ」事業開始

どんどん増える！

1月1日

■ 居宅介護支援事業所「野いちご」事業開始

■ 「せせらぎ」事業開始

2006

9月1日

■ ヘルパーステーション「橋本荘」事業開始

今から15年前！

1月1日

■ グループホームあおぞら「オレンジ」「玉川荘」

■ 「八甲」事業開始

■ 地域活動支援センター

■ 自立訓練所「ほのぼの寮」事業開始

2005

12月19日

■ 社会福祉法人虹設立登記

Social welfare corporation NIJI history

社会福祉法人「虹」沿革

※現在の名称にて紹介しています。

Social welfare corporation NIJI history



【 家庭菜園と干し野菜 】

かていさいえんとほしやさい



若い頃は「買った方が早い」とよく言ったものでしたが、なぜか最近興味わいて始めた家庭菜園。

まずやってみたのが「きゅうり」(とその他少々)。ただ水をやっているだけでしたが、ひとりで勝手に大きくなり、黄色い花が咲くとも知らずに、いつのまにか実をつけて、収穫という作業も体験しました。自分でもなぜか笑ってしまい自己満足。意外と楽しく、日焼けもだいぶしました。「春が訪れたら、あれを買ってこれを買って…」と構想を抱いている今日この頃。

あともう一つ、「干し野菜」。これもおもしろい。椎茸、オクラ、ミニトマト等、ざるに入れて風通しの良い窓際へ置いておだけ。毎朝どんどん縮んでいき、これが旨みの凝縮かと思いました。

これらの野菜を料理に使って、家計の負担を少なくしようと思っています。孫たちも一生懸命水をやってくれました。春よ早く来い!!

ディサービス虹のひろば新城/佐藤 広記



社会福祉法人「虹」 開設15周年に思う

社会福祉法人「虹」理事長/西脇 巽

誕生したばかりの「虹」は自前の施設は皆無で「ほのぼの寮」と「橋本荘」地域活動支援センター「八甲」本部事務所など全て生協さくら病院から譲り受けたものばかりで規模も小さいものであった。

あれから15年経過して今では譲りうけた事業に加えて沿革で紹介しているように、自前の施設も多く抱えるに至って居る。建造物だけでなく活動内容も「ヘルパーステーション」はるかぜ「居宅介護支援事業所・野いちご」「福祉用具サービス七ツ星」など多岐に渡り、成長に次

ぐ成長、発展に次ぐ発展であった。職員も急激に増えている。「意気盛んなエネルギーが無ければこの成長発展は無かったと思われる。これからは量的成長だけでなく、質的な面でも向上を図って行くことが大切だと思う。

いま人類はコロナウイルスに侵襲されて世界的困難に直面しているが、細心の注意予防が必要である。が、コロナに怖気づいて消極的になるのではなく、科学的見識をもつて積極的に「意気盛ん」に立ち向かって行くことが大切だと思う。

新設しました!	2020	2018	2015
	<ul style="list-style-type: none"> 4月1日 福祉用具サービス「七ツ星」事業開始 11月5日 グループホームあおぞら「デネブ」「アルビレオ」事業開始 グループホームあおぞら「橋本荘」事業を廃止 	<ul style="list-style-type: none"> 3月31日 ヘルパーステーション「せせらぎ」事業を廃止 	<ul style="list-style-type: none"> 6月1日 デイサービス「虹のひろば新城」事業開始

2021 さようなら原発・核燃「3.11」八戸WEB集会

オンラインに切り替えて開催

3月7日(日)に八戸市で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止に配慮し、八戸の配信ベース会場からのWebによるオンライン開催となりました。

当日はユーチューブによるLIVE配信を行い、県内各地で反原発・反核燃運動に取り組む状況を視聴でき、約850名以上の視聴参加がありました。



「青森県内の核施設の今」をテーマにしたトークや、福島県を始めとして、青森県のむつ市・大間町・六ヶ所村・弘前市等各地からの報告があり、集会の最後に決議文を発表して終了しました。

コロナ禍の中、集会や会議等がWEB開催に大きく変化してきていますが、このような形でも運動が継続して行われていくことが大切だと感じました。

本部 事務局次長 / 對馬 康文



一緒にプールへ スイミング

No.22 職員休憩室。

長男、長女共にスイミングスクールへ通っています。月に4回の練習で、2ヶ月に1回のテスト。長女は去年12月に育成(6級)になったばかりですが、長男は半年以上2級からなかなか合格出来ずにいます。2月は二人ともテスト不合格。どちらもあと数秒だっただけにとっても悔しそうでした。

そんな姿から「休みの日は一緒に練習しようか」と子供たちと約束。週末、休みなら

市民プールで練習をする事にしました。

私も3歳から高校卒業まで水泳をやっていたので、泳ぎには多少自信があります。

泳ぎのコツやターンの練習、タイムを縮める為に一生懸命練習かと思いきや、ほとんど遊んでしまっただけで練習になりません。それでもコロナ禍で子供たちをどこにも遊びに連れて行けていないので丁度いいコミュニケーションだと思って楽しんでいます。

ショートステイ虹の郷 主任 / 吉田 浩徳

●ご意見・ご要望をお待ちしております。

この機関誌に関する、ご意見・ご要望、読者様の俳句・川柳・その他ご趣味などがございましたら、ぜひ下記までお寄せ下さい。



なないろ vol.26 2021年5月発行(次回発行予定 2021年7月) 発行部数/1,150枚 発行責任者/山崎繁喜

発行元/社会福祉法人「虹」 〒030-0131 青森県青森市問屋町1丁目15-10 TEL 017(738)1133 <http://nijiweb.net/>

配布先/社会福祉法人 虹 本部・デイサービス虹のひろば・デイサービス虹のひろば新城・ショートステイ虹の郷・ヘルパーステーションはるかぜ・居宅介護支援事業所 野いちご・地域活動支援センター八甲・自立訓練所 ほのぼの寮・グループホームあおぞら・福祉用具サービス七ツ星